

言語化の技術

～自分の中の混濁した思いを分かりやすい言葉にして他者に伝える技法～

＜ Zoomミーティングセミナー＞
練習問題・ディスカッションを交えて学ぶ

2025年11月19日(水) 10:30-16:30



株式会社情報機構

言語化の技術

自分の中の混濁した思いを分かりやすい言葉にして他者に伝える技法

平成元年に消極的に独立してから、たくさんの失敗を重ねてきました。

何とか乗り越えられたのは、図解を使って

「アイデアを広げ・考えをまとめ・伝える表現する」ことができたからです。

最初に始めたS Eの仕事でぶつかった問題は、.

顧客の「言った通り」にシステム開発しても「違う！」と言われることでした。

議事録に書いてあっても、確認印があってもです。

「そうは言ったが、ホントは違う」というようなことが、何度もありました。

その後は、新規事業の企画などの企画や提案の仕事をするようになりました。

顧客の「想い」を聞いて、「こうしたい！」を具体化して企画書にします。

この仕事では、自分の知識・経験と組み合わせて「どう組み立てる？」か、

より価値のある体系的な情報にして文書化することが必要でした。

でも、時間をかけて一生懸命に取り組んでも上手くいきませんでした。

悩みは、どうやったら、足りない情報を得られるか？、頭の中のモヤモヤを

論理的に整理できるか？、分かりやすく表現できるか？、ということでした。

「どうやったら上手く言葉にして考えられるか」が、

その後の私の人生のテーマとなりました。

潤沢な情報を得るために、自・他に問いかけ、ネットなどの情報を

アタリをつけて探っていく方法は無いか？、価値ある情報を論理的に

組立てられるか？、顧客や関係者に正しく理解してもらえる表現方法はと、.

今回の講座は、この問題を解決することを目指したものです。

問題の解決方法は「図を使って可視化しながら言語化する」ことです。

同じ悩みを持つ人の役に立てたらと考えています。

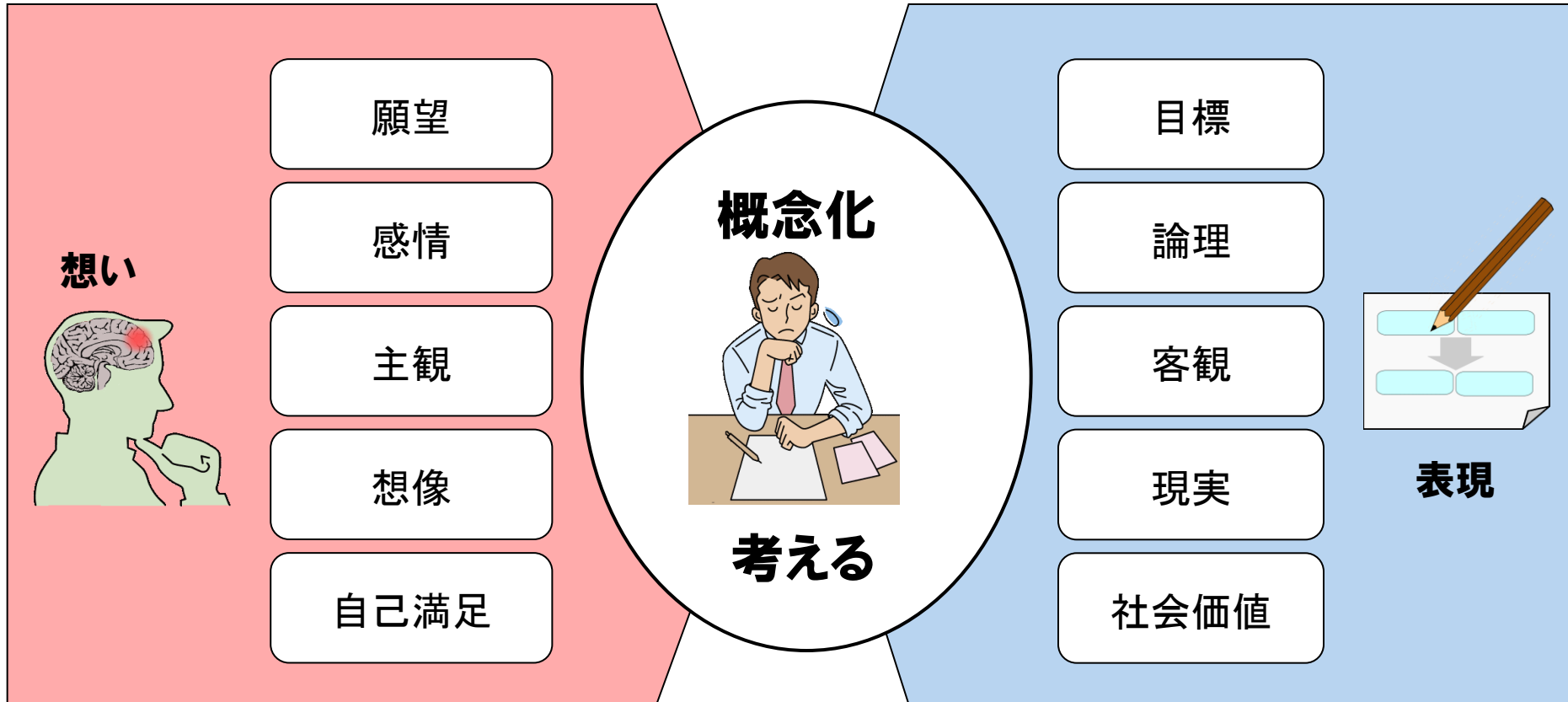


池田 秀敏

「想い」を実現方法へ具体化する

頭の中の混沌とした「想い」

実現方法を具体化する



「想い」を可視化

「頭の中で思い描いた混沌状態」のまま、分かりやすい表現を考えても無理



頭の中の「想い」をビジネスにする仕事の悩み



<http://www.teoria.co.jp>

copyright (C) Hidetoshi Ikeda All rights reserved

自分で一生懸命やったが..



関係者から

必要な情報を集めるが..
上手く質問できない
十分な情報を得られない

時間をかけて準備した
提案書・設計書にしたが..
自信が持てない



何に？

顧客・協力者に

一生懸命に伝えたが
「よく分からない」と言われる
理解してもらえない

潤沢な情報が無いので
限定合理性の罠に陥る

受信の壁

真の目的・目標を掴めない
聴く力の問題

現状分析・課題定義も甘く
価値ある情報も少ない

企画の壁

課題実現の設計が不完全
考える力の問題

正しく伝えられない
理解・納得が得られない

表現の壁

理解を得る表現力が弱い
伝える力の問題



解決は、「想い・考え」を言葉で表現する力を高めること！

ビジネス・パースンの「悩み」と解決へ導く「力」



<http://www.teoria.co.jp>

copyright (C) Hidetoshi Ikeda All rights reserved

企画・提案・プレゼンでの



ビジネス・パースンの悩み

アイデアが出ない
思いつけない

「想い」はあるが
上手くまとめられない

伝わらない
理解してもらえない

視野を広げ情報を得る
(限定合理性を乗越える)
発想力

「想い」の実現を設計
(論理的に仕組化)
設計力

分かりやすく表現する
(読ませる→見せる)
表現力

企画力

受信力

自分の発信したい「想い」は、顧客や上司にとっての価値は「どうなのか？」を受止める

高い解像度で言語化することが土台となる！

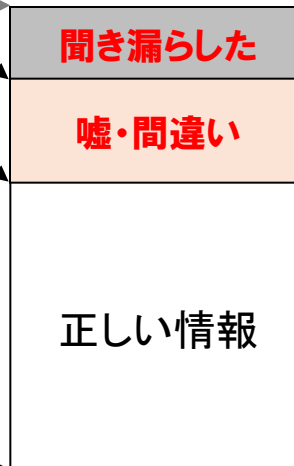
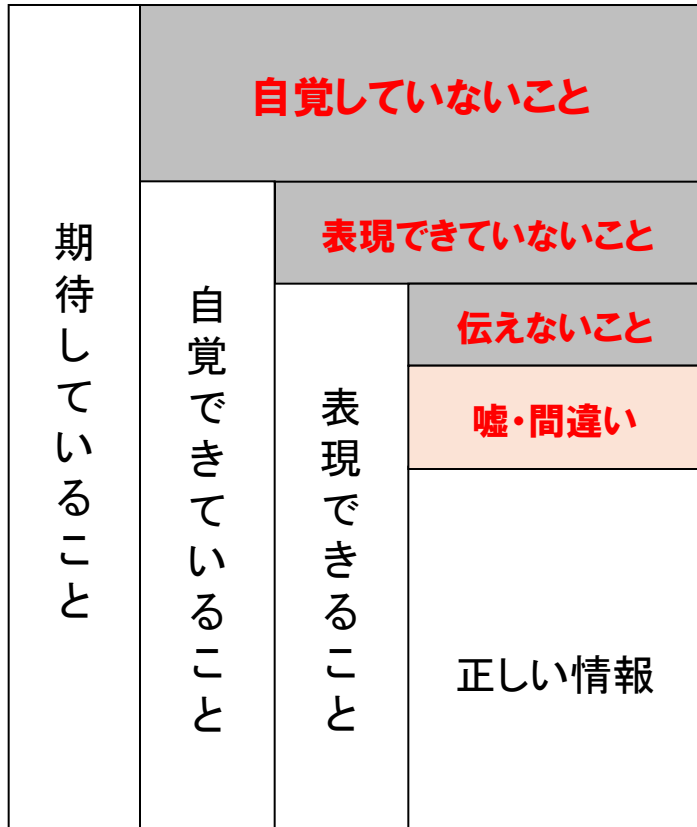


関係者から情報を集める問題点

発信者の期待

この違いがある！

受信者の理解



期待していること ⇒ 発言したこと

発信者

受信者

正しい発信ができていない

正しく受信できていない

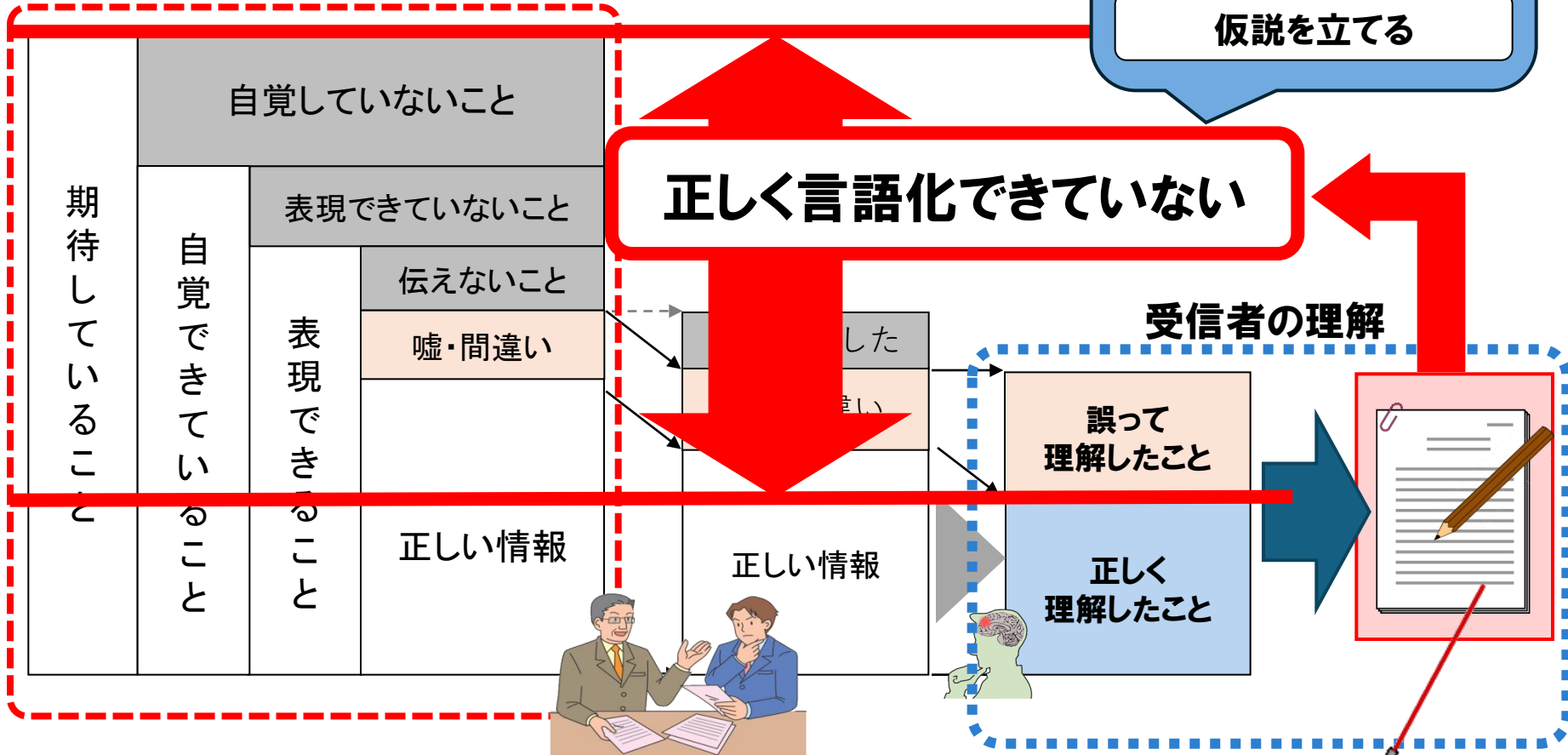


ここをまとめても？

発言をまとめる情報

必要なのは言語化で補うこと

発信者の期待



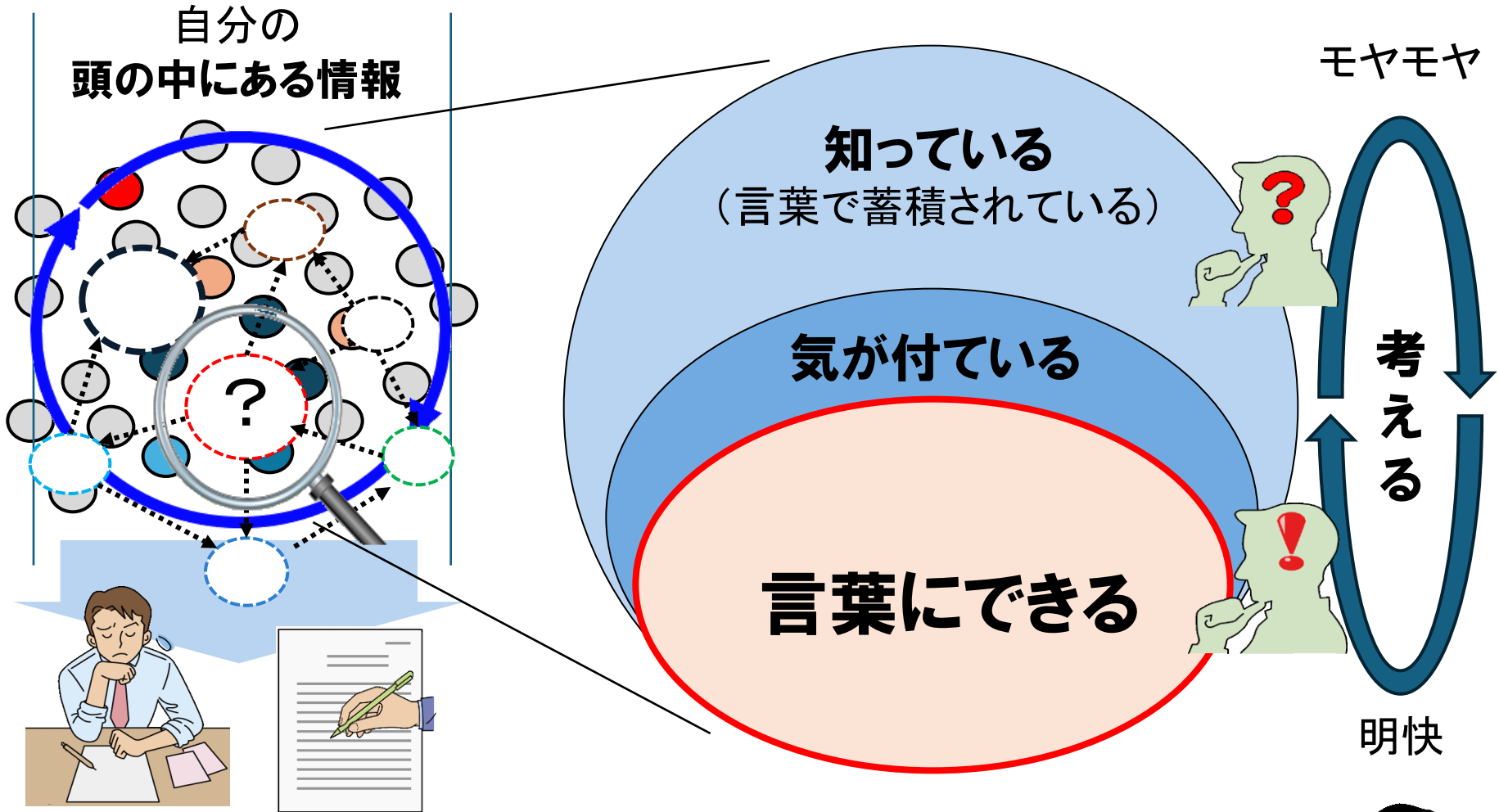
聞いて書いただけでは役に立たない

自分の頭の中にある「情報」を整理する実情

<http://www.teoria.co.jp>



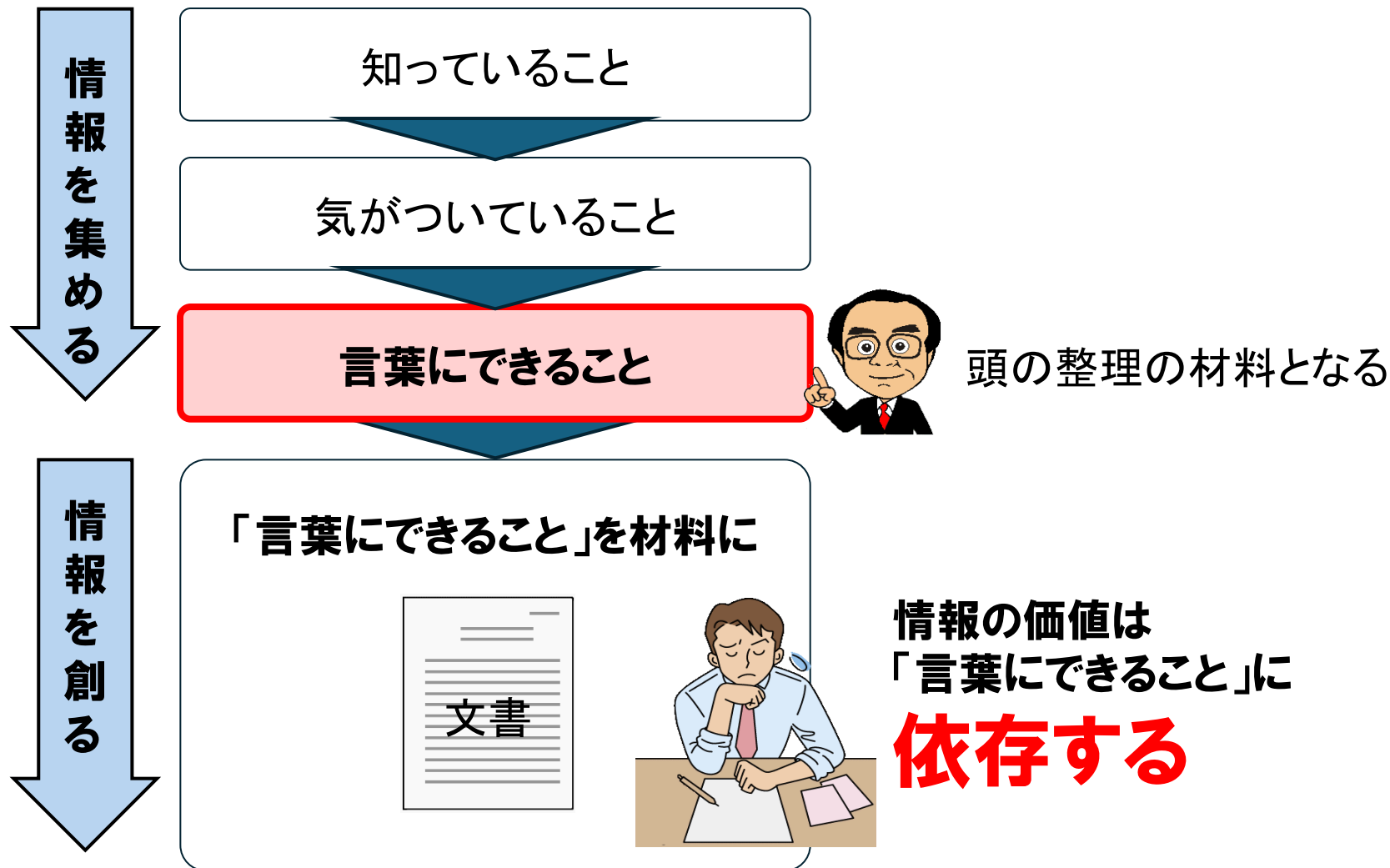
copyright (C) Hidetoshi Ikeda All rights reserved



整理できるのは
「言葉にできる」ことだけ！



自分の頭の中を整理するだけでは、生み出す価値の限界

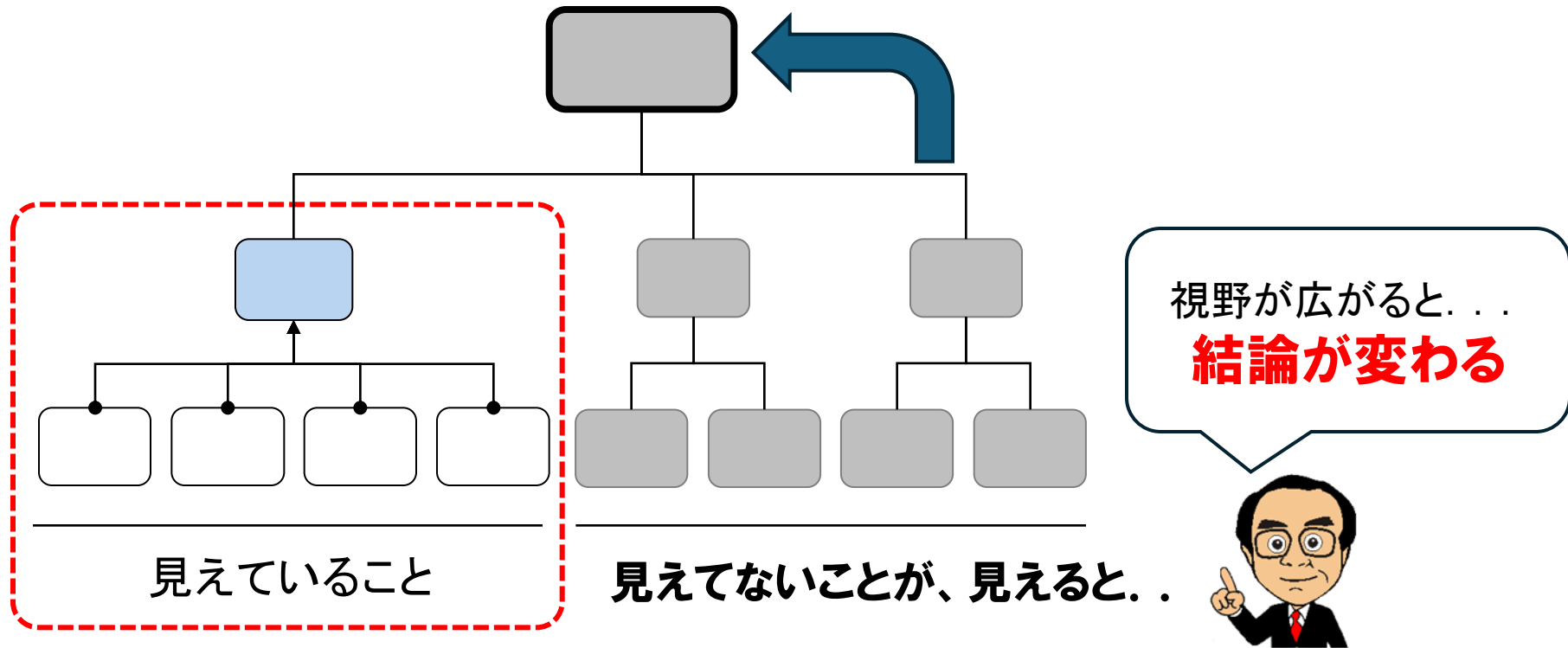


表現できるのは「言葉にできる」ことだけ
知っていること・気がつくこと・言葉にできることを増やす必要がある

頭の整理だけでは「限定合理性」の問題に陥る

限定合理性

(経済学者のハーバート・サイモンによって提唱された概念)
限られた情報の中での合理的な判断しかできない。



持っている知識でしか結論を正当化できない

情報を構造化することで、分かりやすく伝えられる！

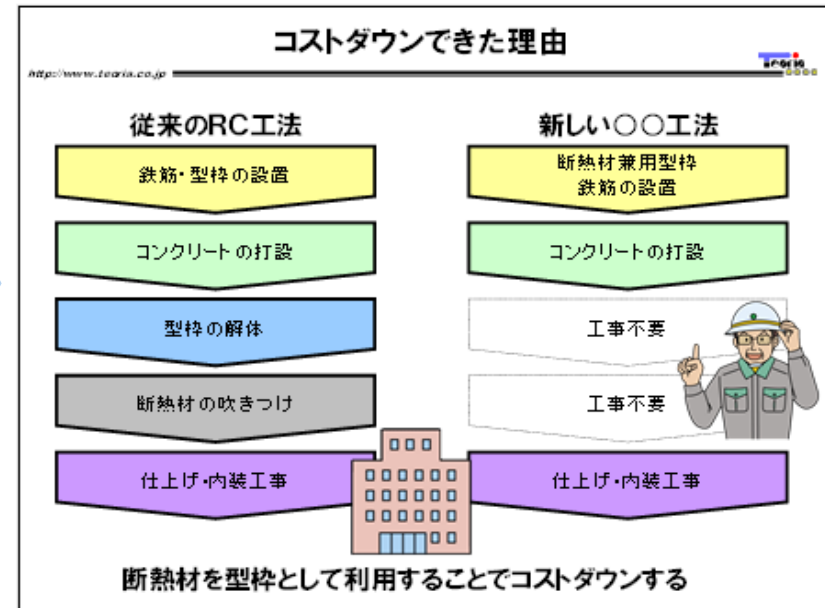
同じ内容を文章と図解で表現して比べると...

【文章】

従来のRC工法に比べて、新しい〇〇工法はコストダウンすることができます。その理由は工程の違いにあります。従来のRC工法の手順は、最初に鉄筋・型枠の設置、次にコンクリートの打設、型枠の解体、断熱材の吹きつけとなり、最後に仕上げ・内装工事を行います。それと比べて新しい〇〇工法では、断熱材兼用型枠・鉄筋の設置を行いコンクリートの打設を行い、最後に仕上げ・内装工事となります。断熱材を型枠として利用することで作業工程を減らすことでコストダウンすることが実現できました。

同じ内容

【図解】



図解で表現すると..

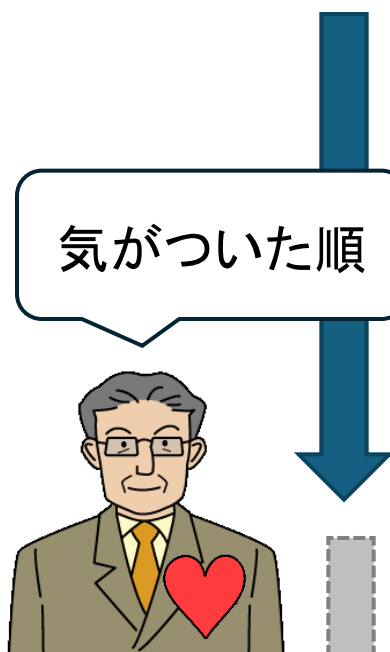
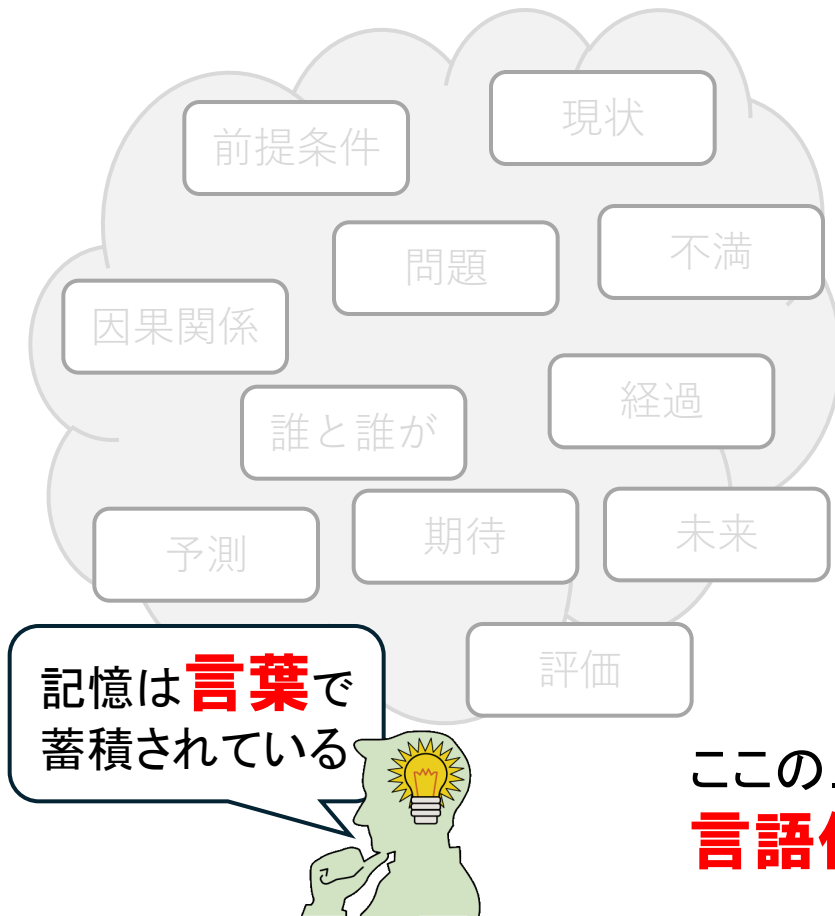
- ①説明しやすい: 構造化されていると説明が簡単になる
- ②理解しやすい: パット見た瞬間に理解できる

<http://www.teoria.co.jp>

紙に書き出すということは...言語化できている！
「どう言語化するか？」がテーマなのに...??
ヒラメキに依存することで良いのか????

ヒラメキに依存すると．．気がついた順に出てくる

頭の中には、様々な「想い」が混在

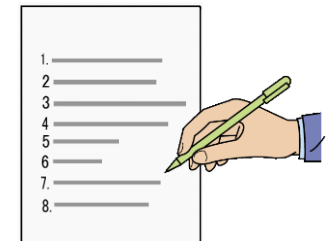


この．．．
言語化は？

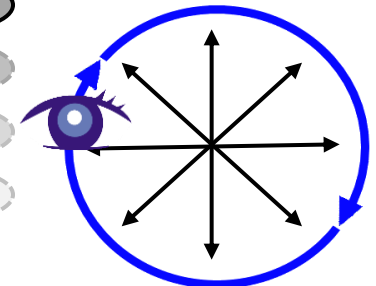


- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8

気がいたら
書ける



視点移動
で着眼点を変える



着眼点を変えて「気がつく」をコントロールすることが必要！

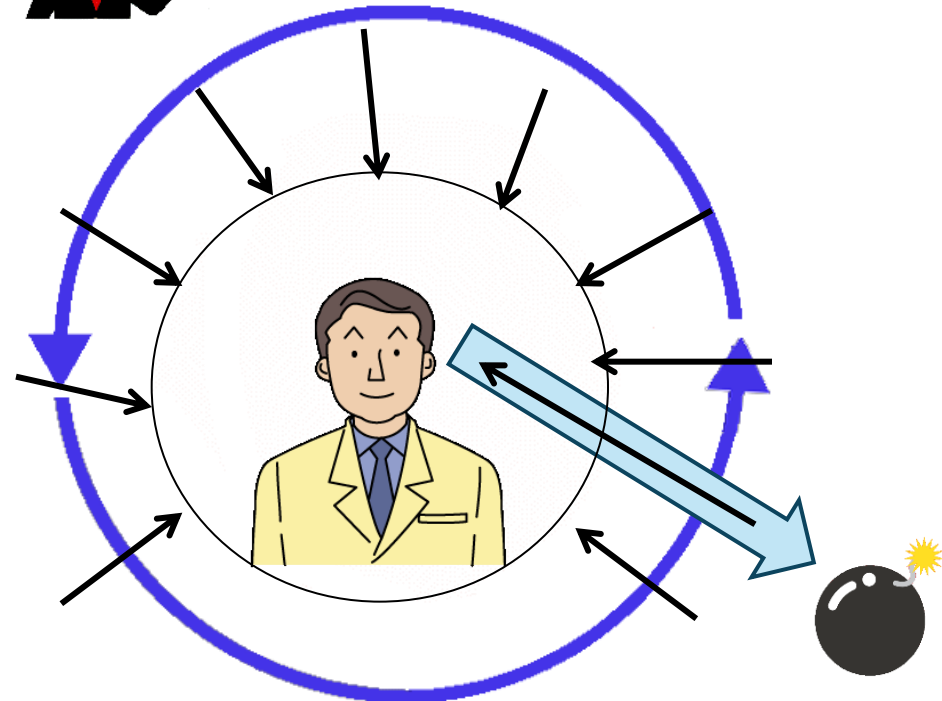
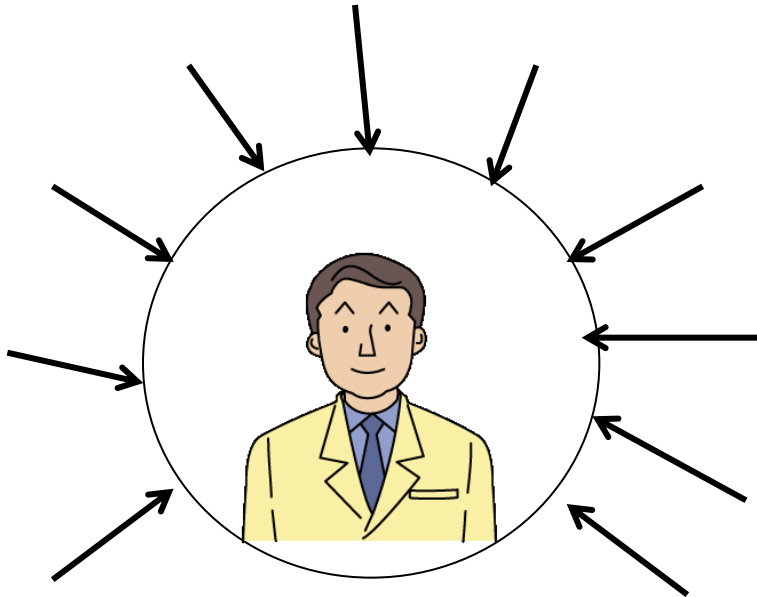
視点を移動しないと情報は入ってこない

自分の周りには
たくさんの情報がある
でも、すべてを受取っているわけではない

意識しないものは入ってこない



「意識の矢印」を向けたものが
情報として得られる

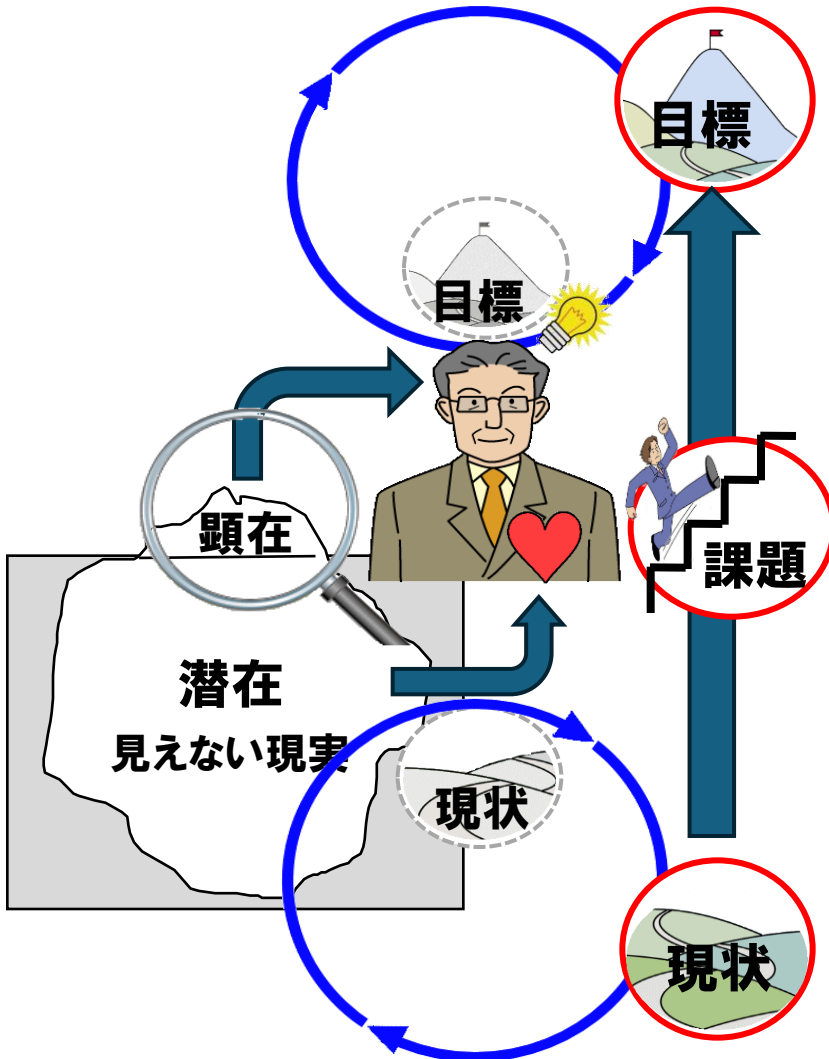


視点移動ができると

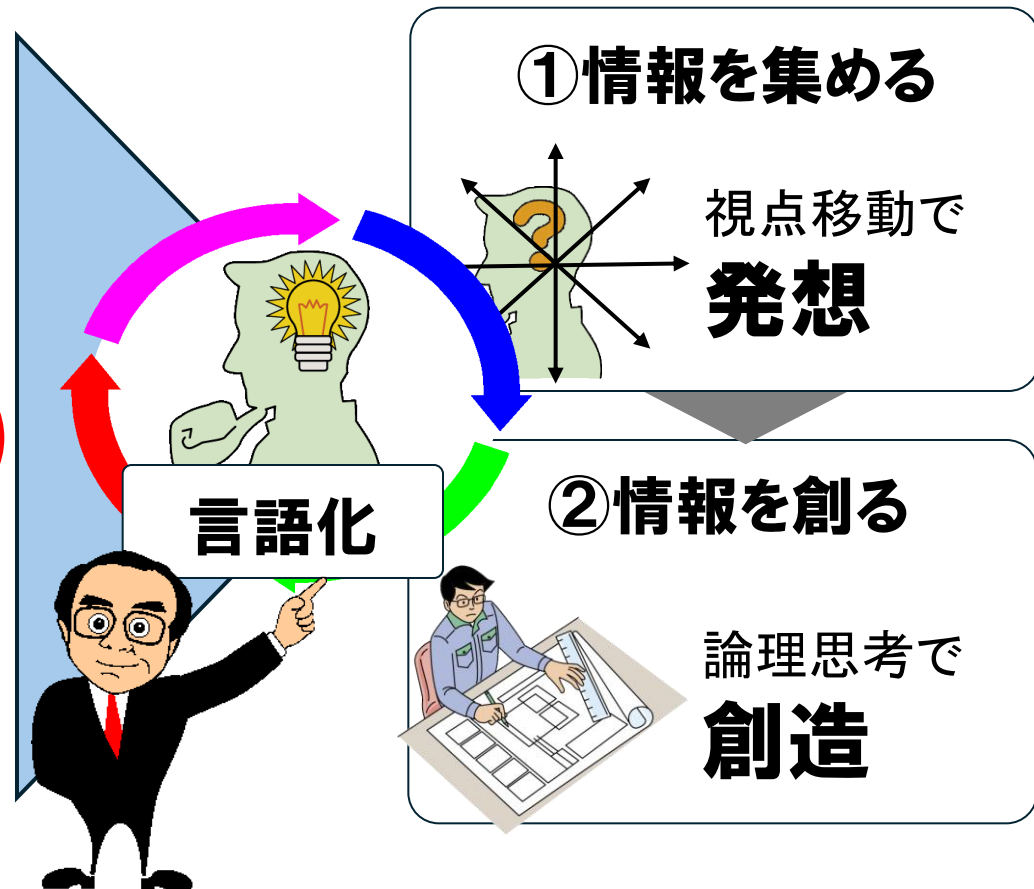
- 顧客の頭を「外部記憶」にできる
- ネットなどの外部記憶を効率的に探せる

言語化の「2つの機能」

心で望む期待を実現する**目標の再定義**



現実を正しく理解する**現状の再定義**

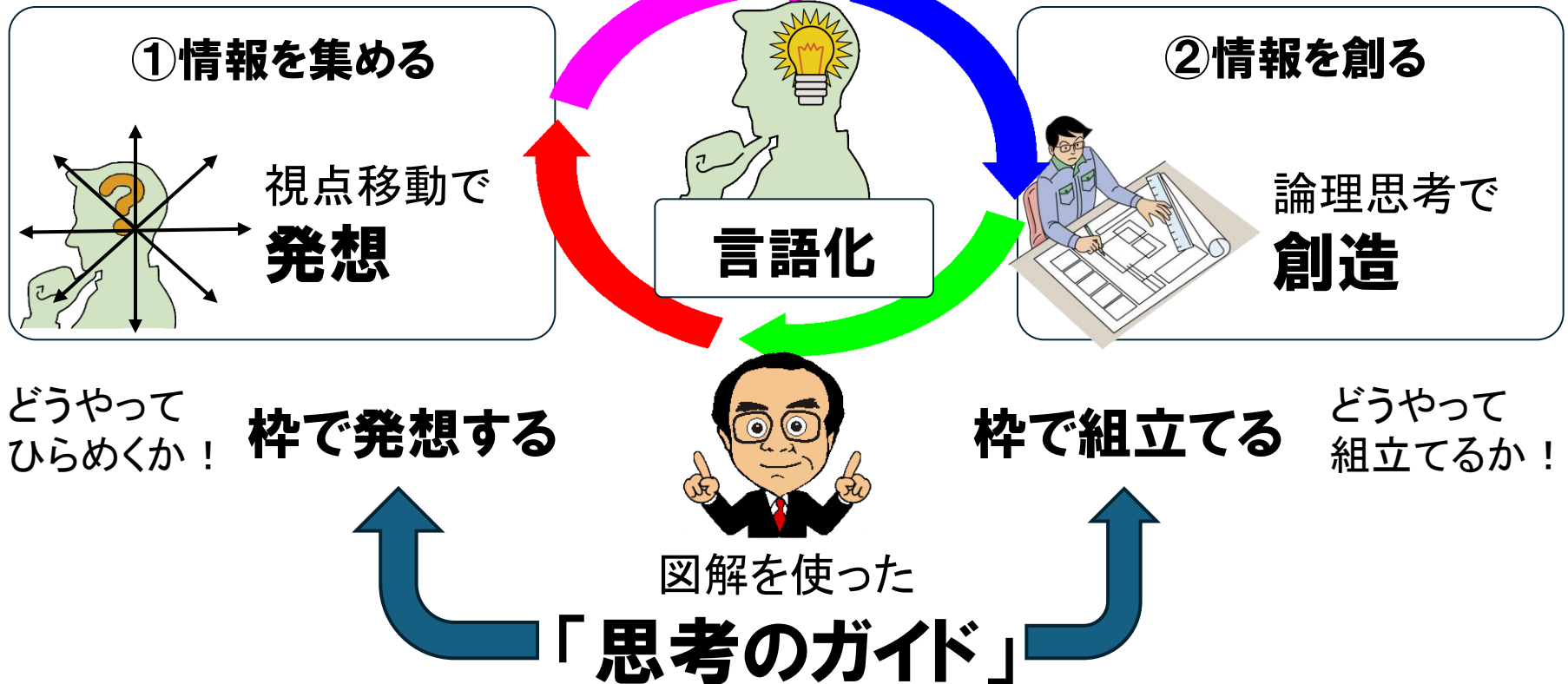


「言語化」という言葉には
2つの機能が求められている

提案する言語化の方法とは！

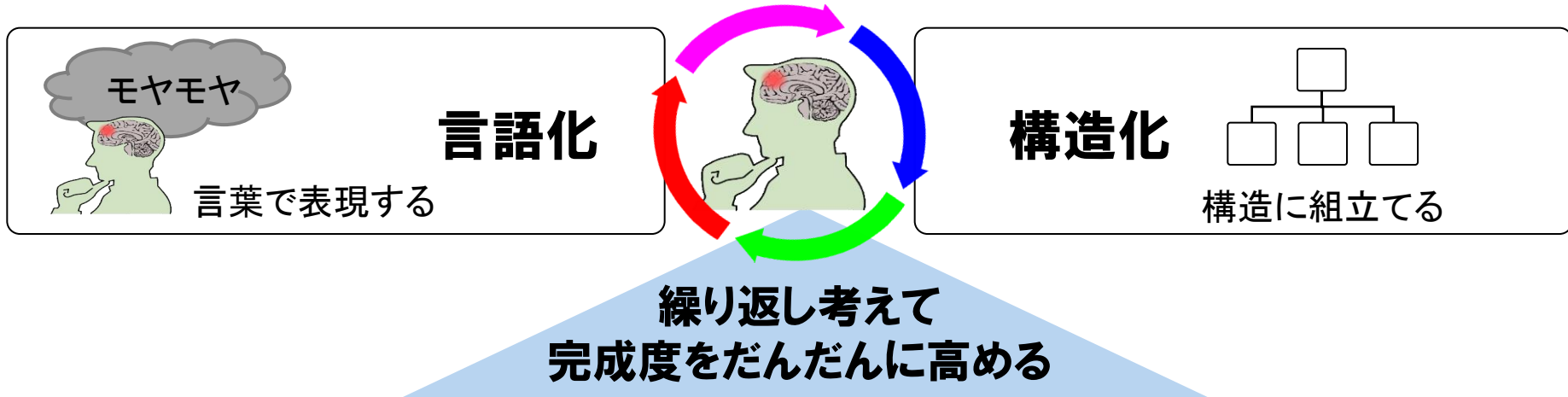


価値ある情報！

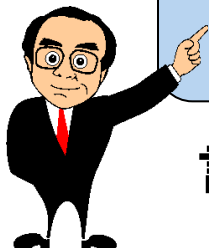


視点移動し、論理で組立てていく、ガイドとなる **構造で考える枠**

情報の言語化に必要な「6つの力」



言葉にして、構造にすることでたくさんの「気づき」がある



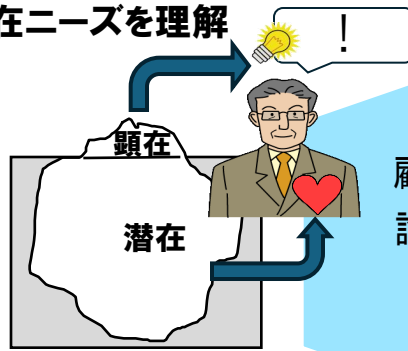
図を描きながら考える「6つの機能」



<http://www.teoria.co.jp>

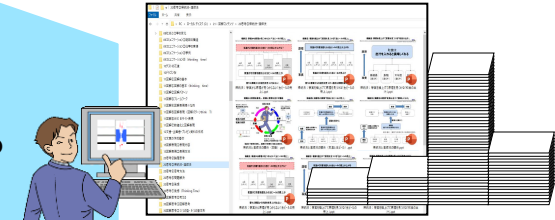
copyright (C) Hidetoshi Ikeda All rights reserved

潜在ニーズを理解



顧客の潜在ニーズを
論理で理解を深める
受信

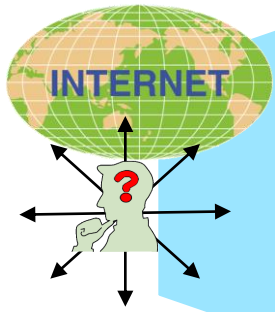
経験知を活用する



企画書DBで効率化

蓄積したノウハウ
企画の効率をUP
蓄積

視点移動し
広く情報を集める
発想



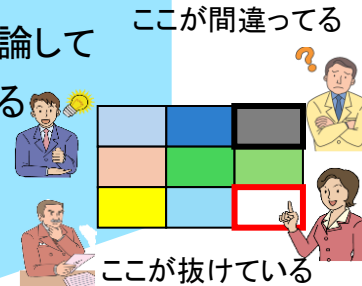
アイデアを探す・情報収集

考える

書く

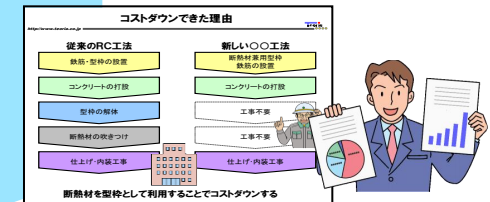
図を描きながら考える

みんなで議論して
知恵を集める
共創



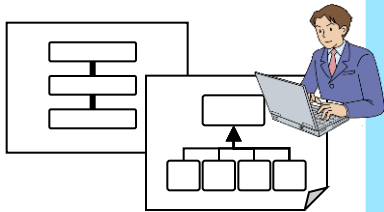
図解を土台に衆知を集める

分かりやすく
情報を伝える
伝達



情報を分かりやすく伝えられる

論理を担保した組立て
複雑な情報を価値へ
企画



情報の論理設計

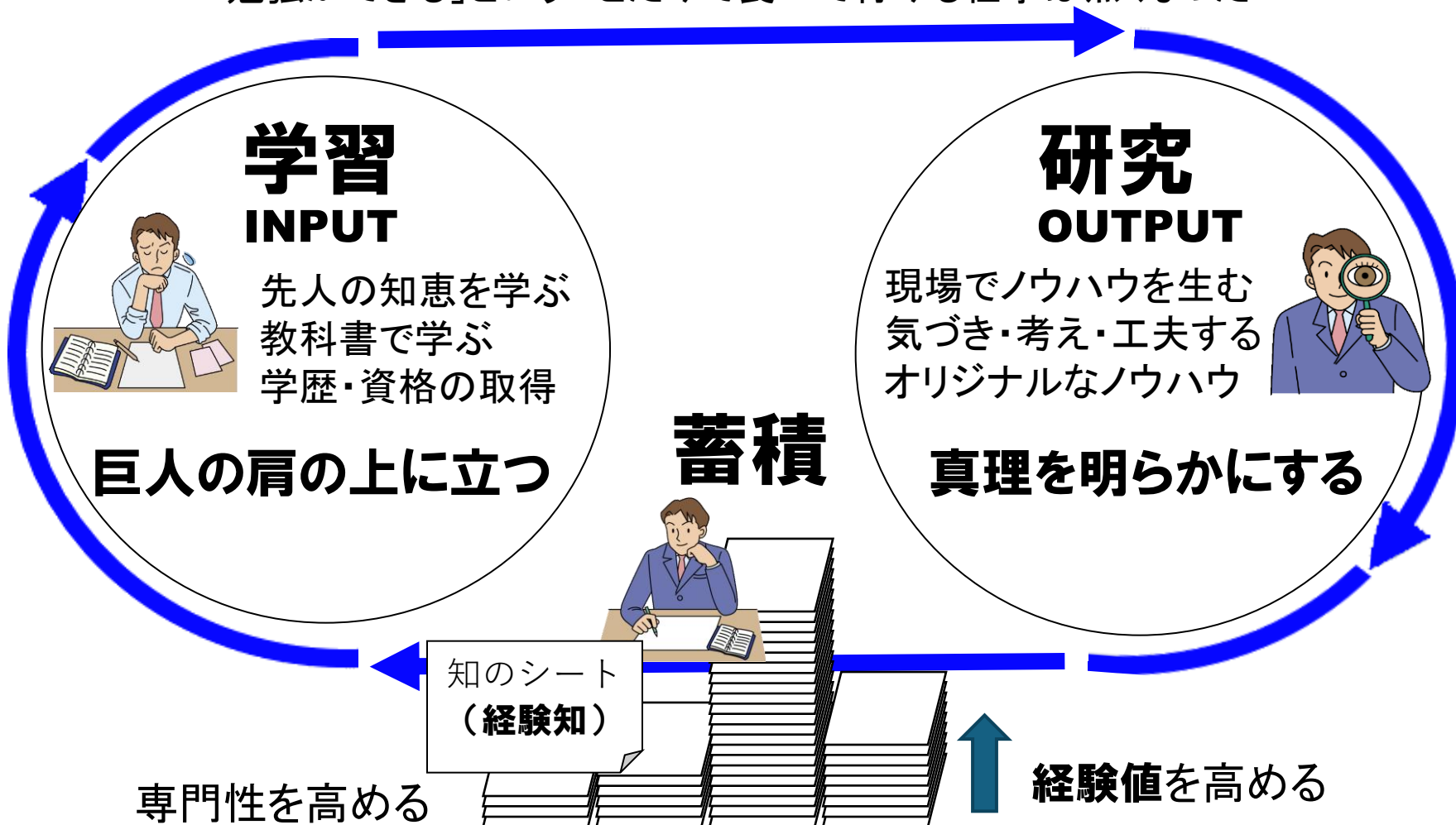
図を使って思考力を高める



図を使って発信力を高める

専門性を高める「学習・研究・蓄積」

従来のような「学習」で
「勉強ができる」ということだけで食べて行ける仕事は無くなった



問題解決のノウハウを論理でコンテンツ化する

経験をコンテンツとして蓄積すると発信力が高まる



<http://www.teoria.co.jp>

copyright (C) Hidetoshi Ikeda All rights reserved

探し出しやすく活用しやすい
イメージで記憶が蘇る
あの時の、あの図！

図解DB

知のシート
(経験知)

図解で、知恵の蓄積・再利用が簡単になり知的生産性を高められる